

除染

美しい飯館村を取り戻すために

現在、村内で行われている除染のようすをお知らせします。



▲壁面の除染は表面を拭き取ります (大久保・外内)



▲屋根の除染作業のようす (大久保・外内)



▲腐葉土などの堆積物を除去した林緑部 (須萱)



▲表土はぎ取り後、客土を行い除染完了した水田 (須萱)

村内の除染進捗率

(平成25年7月31日現在)

	二枚橋・臼石地区	須萱地区
宅地除染	35%	49%
農地除染	7%	51%
森林除染	10%	100%
事業量換算進捗率	53%	75%

※国および飯館村振興公社発表の資料より作成

村内の除染の状況をお伝えします

大久保・外内行政区でも除染作業始まる

村内の除染については、二枚橋・須萱と臼石行政区の宅地・農地・宅地周辺の森林などについて、約550人体制で作業を

進めています。8月6日からは、大久保・外内行政区で、宅地周辺の除染工事と仮仮置き場の造成が始まりました。

また、前田・八和木、関根・松塚行政区で、国による除染工事の発注が行われています。現在、9月上旬からの作業開始に向け、準備を行っています。なお、他の行政区の除染については、来年4月から作業を開始できるよう、村は国と協議を行っています。そのためには、早期の除染同意や居久根伐採の契約、仮仮置き場の確保が必要になりますので、住民の皆さんのご協力をお願いします。そのほか、7月31日現在の除染作業の面的な進捗率について公表されましたので、お知らせします。

ワークショップ中間報告のようす▶

8月12日、福島県青少年会館において、村の今後の地域づくり計画と土地利用の見直しについて話し合う、行政区ワークショップの中間報告会を行いました。報告会では、7月に行った行政区ワークショップで各行政区から出された課題が、内容ごとに4つに類型化して説明されたほか、今後の村民アンケートの実施や、第2回ワークショップのスケジュール・検討内容などについて示されました。



シリーズ
復興計画第4弾
中間報告会

行政区ワークショップ 中間報告会

村では、7月の第1回行政区ワークショップで検討された地域づくりや土地利用計画についての意見や課題をまとめた、中間報告会を行いました。10月に行う第2回ワークショップでは、地域の課題に対する具体的な対策について検討される予定です。

その後に行われた意見交換では、参加者から、計画策定の進め方が早いという意見が多数出されました。

村では、今回の意見交換を踏まえ、9月に18歳以上の全村民(震災後に転出した人を含む)を対象にアンケートを行うとともに、第2回ワークショップを開催し、地域計画として今後策定する復興計画(第4版)に反映します。

日程が変更になりました

第2回ワークショップの日程

- 10/21(月) 草野、深谷、伊丹沢、関沢、宮内
- 10/22(火) 小宮、八木沢・芦原、大倉、佐須
- 10/23(水) 飯樋町、前田・八和木、大久保・外内、上飯樋
- 10/24(木) 比曾、長泥、蕨平
- 10/25(金) 関根・松塚、臼石、前田、二枚橋・須萱



▲行政区からの課題が報告されました

- 第1回ワークショップで出された課題(代表的なもの)
- ① 帰村の見込みについて
 - ・年間5ミリシーベルトでも安全か分からない。40〜50代でも判断は分かれる。子どもや子育て世代は戻らない。高齢者は戻るだろうが、戻ってからの生活が心配。
 - ② 地域の抱える課題について
 - ・家屋の手入れ・リフォームが必要。
 - ・高齢者の帰村後の生活支援、居住支援(シェアハウス等の集約居住)。
 - ・水耕栽培・花きなどによる営農再開、再生可能エネルギーなど新たな産業の創出。
 - ③ 市街地を中心とした地域
 - ・戻りたい人が地域に戻れるような環境整備が必要。
 - ・まちの再生、商店の再開支援。
 - ④ 農業再開への思い
 - ・農業が再開できるかが帰村のカギ。
 - ・先祖の土地を守りたい。
 - ・除染後の農地の適切な管理が必要。

村民アンケートにご協力ください

村では、帰村についての意向や行政区の課題について把握するため、村民アンケートを実施します。今回のアンケートは、18歳以上の全村民を対象に行います(震災後に転出した方を含みます)。調査票がお手元に届きましたら、調査にご協力ください。

○実施時期:9月上旬 ○回答期限:9月中旬 ○問い合わせ:総務課企画係(☎024-562-4246)